

えんだより

2018年
5月号

NO. 146

シャローム三育保育園

色とりどりの花や緑が一段と鮮やかな季節となりました。あたたかい風に園庭のこいのぼりも気持ちよさそうに泳いでいます。

子どもたちも徐々に新しい環境に慣れてきたようですが、そろそろ疲れも出てくる頃です。体調を整えるためにも食事、睡眠を十分に摂れるように心掛けてください。何かと大人のペースで過ごす事が多いと思いますのでお休みの日には、特別なイベントは無くても、近所の公園で遊んだり、お散歩したり、ゆっくり話を聞いてあげるなど、一緒に過ごす時間を大切にしてください。

園長 村上 渉

掲示板練習メッセージ5月1日頃配信いたします

《お知らせ》

○5月1日付で○○ ○○保育士が入職いたしました。

○すみれ組担任について

当初 担任を3名予定しておりましたが 事情により○○保育士、○○保育士が中心となり他の保育士と連携を取りながら保育をさせていただくことになりました。



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子どもの日
6	7 礼拝	8 体操教室	9 尿検査回収 (3.4.5歳児)	10 英語教室	11	12
13	14 礼拝 避難訓練	15 体操教室	16	17 英語教室 (4.5歳児)	18 絵本読み聞かせ (5歳児)	19
20	21 礼拝	22 体操教室	23	24 英語教室 (3.4.5歳児)	25 お弁当持散歩 (3.4.5歳児)	26
27	28 礼拝	29 体操教室	30 誕生会	31 内科健診		

「遊び」

どんなことでも上手にできるようになるまでには何度も失敗するものです。失敗の積み重ねが上手につながっていきます。「子どもの仕事は遊び」と言うように遊びの中に成長に欠かせない「学び」がたくさん詰まっています。遊びを通して必要な力を習得し、次の遊びに発展させることを繰り返して心も体も成長していきます。遊ぶから、成長できるのですね。

基本的に遊ぶ事は楽しい事だと思います。楽しいことをやってみたいと思う好奇心は大人も子どもも変わりませんが、気をつけなければいけないのが、大人は子どもが失敗する事を予想できることから、途中で止めさせたり、できないことを責めたり、過度に手伝ってしまう事です。子どもたちの遊び方を見てみると、遊びの中でうまくいかない事があると、自分が楽しく遊べる方法に切り替えていきます。これを繰り返すことで自然にできるように学んでいくのです。その流れを絶たないように根気よく見守ることも必要です。また、大人と一緒に遊ぶことで、大人が見本になり子どもが真似をして「やってみたい」という好奇心や「できるようになりたい」という向上心が育ちます。

小学生のころ「遊」の漢字を「方々」で「子ども」が

「之（歩きまわる）」と覚えた記憶があります。これからの季節、外には遊びの素材がいっぱいあります。自然の中にあるものから遊び道具を作ったり、自由な発想で親子のオリジナル遊びを楽しんでみてはいかがでしょうか。

《お願い》

お子様のロッカーには着替え、上下3組の常備をお願いしております。子どもたちが清潔・快適に生活が送れますように 毎日ロッカー内をご確認いただき補充をお願いいたします。また 3組以上入っていますと 子どもたちが衣類の出し入れに手間取ったり 紛失の原因になりますので 多く入れすぎないようにお願いいたします。

